

静岡県校友会

会員募集

静岡県内在住の立命館大学出身者はおよそ4,000人。静岡県校友会は、母校の「Beyond Borders」の精神のもと、世代を超えてつながり、それぞれの世界を広げていこうと活動しています。また、これから卒業する学生向けの就職情報交換会や富士山女子駅伝の応援といった立命館大学に関わるイベントのほか、懇親会なども定期的に開催しています。ぜひ、この活動にご支援いただき、ご参加いただきたくご案内いたします。

2022年度主な活動

「Rits Shizuoka 校友の集い」 (総会・懇親会)を開催



8/27、3年ぶりに総会・懇親会を開催しました。第2部では、元立命館大学教授で、現掛川市長の久保田崇氏にご講演いただきました。



富士山女子駅伝で5位入賞、 静岡県校友会が応援



12/30、コロナ禍で3年ぶりの有観客となった今大会は、沿道の一般客は少なかったものの多くの方に「立命館大学」の小旗を持っていただき、ともに応援しました。



地元、静岡県での就職活動を 応援



2/25、静岡県と共同で県内就職を目指す学生を対象に就職支援を行っています。3年ぶりにオンラインを活用した「就職情報交換会」を開催しました。



写真は
2019年度のものです。

静岡県校友会活動にご支援をお願いします。

賛助会費について

【募集期間】 2023年3月10日～2023年7月31日 左記期間外でも受付可能。

1口 3,000円(年間) 1口以上 何口でも歓迎!! ※納入の有無により会員資格に影響はありません。

【手続方法】 (1) 左のQRコードを読み取りお申込みください。



①氏名 ②卒業学部・卒年 ③在住地区(西部or中部or東部) ④連絡先電話番号 ⑤口数
例) 立命花子 法学部・2010年卒 ③静岡県西部 ④080-1234-5678 ⑤ 1口

(2) 下記【口座】で都合がよいところに直接お振込みください。

【口座名義】立命館大学静岡県校友会
【振込人名義】は、①氏名 ②卒業学部・卒年 例) リツメイハナコ ホウ 2010

○静岡銀行 北安東支店(普通) 0700188
○浜松いわた信用金庫 本店営業部(普通) 2091516
○ゆうちょ銀行 238-(普)-1121978 【記号番号】 12320-11219781

この賛助会費は各地区会活動にも活用いたします。



静岡県会長 加藤 誠 (1967産社卒)
遠州会会長 中畑 直二(1994経営卒)
駿府会会長 西野 徹 (1998文卒)
富嶽会会長 村上 益男(1975文卒)

【お問い合わせ】
立命館大学静岡県校友会 事務局
担当: 松岡孝江(1992 経営卒)
ritsumei.shizuoka@gmail.com



News Letter

静岡県校友会 × 立命スポーツ編集局コラボ企画

静岡県校友会は立命スポーツ編集局(通称:立スポ)に所属する学生と交流しながら様々な企画を実施しました。2022年度の活動を紹介します。

4/30 オンライン交流会「世界に挑む! 立命スプリンター」

4/30、立命スポーツ編集局(以下、立スポ)と静岡県校友会の共同企画でオンライン交流会を開催しました。スポーツの力で校友会を盛り上げたいと企画したこの会では、立スポの学生から普段の活動の様子や立命館大の注目クラブ・選手などを紹介していただきました。

また、5/3静岡で開催される「静岡国際陸上競技大会」に出場する女子陸上競技部5名の選手にも事前インタビューをしていただいており、レースで活躍する姿とは違う選手の素顔を知ることができました。さらに杉村憲一監督は、自主的に練習に取り組む選手の様子や学生に対する熱い想いを語ってくれました。

学生達の目標に向かって挑戦する前向きな様子を伺い、大会での活躍がとても楽しみになりました。



5/3 静岡国際大会「世界に挑む! 立命スプリンター」現地で応援

5/3、静岡・小笠山エコパスタジアムで開催された「静岡国際陸上」に女子陸上競技部より5名が出場し、現地交流会を静岡県校友会の主催で実施しました。この大会は、オリンピック出場経験のある選手や海外の実力選手などが集まる日本グランプリレースの1つで静岡県出身の選手も多数出場し、多くの観客が盛り上がりました。

校友はスタンドに集まり、出場する選手に拍手でエールを送りました。また選手たち

も校友の存在に気づき手を振り合うなど、一体感を味わいました。

女子200m決勝では、壱岐あいこ選手(スポ健4)が23.62という学生歴代5位タイの好記録を叩き出し、女子400m予選では、工藤芽衣選手(食マネ2)が58.04の自己ベストを更新。さらに決勝では、57.98で第4位と好成績を残しました。6月の日本選手権に向けた調整期間に行われた大会とはいえ、立命館大の強さを見せてくれました。

静岡まで取材に来ていた立スポの近藤優香さん(政策3)は「卒業生のみなさんがこうして後輩を応援していただいていることはとてもありがたいこと」と話してくれました。また、杉村憲一監督からは選手の活躍を労うとともに、応援の校友に対しても感謝の言葉をいただき、校友、現役学生、大学が交流できるととても良い機会となりました。



11/19 オンラインイベント「する」スポーツから「伝える」スポーツへ

11/19、高校時代に世界を制した相撲ガール、野崎舞夏星さん(スポ健2019卒)をお招きし、オンラインイベントを開催しました。イベントでは、立命スポーツ編集局が、女子相撲のこと、大学時代のこと、フジテレビでの仕事、コロナ禍でのスポーツの現状などをインタビューしました。野崎さんは、「大学時代はけがとの闘いでもあったが、その経験があったからこそ、復帰戦での1勝がとてもうれしかった。辛いことがあったときの気持ちの切り替え方などを学んだ。」と話し、また、ロシア遠征で味わった経験から、女子相撲の今後の可能性についても語ってくれました。当日の様子はYoutubeでご覧いただけます。



「立命館大学思い出巡り」〇〇は今どうなってる?! 現地取材レポ

7/17、静岡県校友会4名と立命スポーツ編集局学生3名は、校友から提供された「思い出の地」を巡る現地取材をしました。

衣笠キャンパス正門に集合した7名は、東門を出たところにある「べんけい」でまず腹ごしらえ。料金はリーズナブルなまま。おかみさんが「昔はね〜、部活帰りに毎日来てくれる学生も多くてね〜」と昔を懐かしみながら話してくれました。

東門から郵便局までの通りは、昔、学生で賑わっていましたが、今は銭湯もなくなり、後継者がいないために店を閉めたところも多いということでした。このあとキャンパス内の思い出の地を巡りながら、新しい校舎が建ち並ぶ母校を散策しました。

